

第4回 学校運営協議会 議事録

日時 2月17日(火) 14時～16時30

場所 小絹小学校 図書室

議事録作成 副会長

◆協議会の流れ確認 (小学校教頭)

◆会長あいさつ

本日は今年度の反省と来年度の取組を話し合い、小学校、中学校で最後に共有したいと思います。

【小学校、中学校分かれて熟議】

◆ワークシート①「ボランティア区分と登録について」

◎議題：現行では小学校、中学校で分けずにボランティア内容の3区分で分けているが、
小学校ボランティア、中学校ボランティアと分けて区分に変更する

<問題点>

- ・小学校、中学校ではボランティア募集しているものが違うが、類似したものあり、受け手側が混乱する
- ・小学校での募集なのか？中学校での募集なのか？判断しにくい。
- ・現在は小学校のボランティア募集をするとき、中学校からしかスクリレ配信ができないため、日程の変更や、修正をしたいときなど、タイムロスがある。
- ・土・日開催の小学校の運動会などが中止になった場合、現在では中学校からしかスクリレが流せず、中学校の教頭が休日にもかかわらず、学校にきてスクリレの操作を行わないといけない。
- ・3つのボランティア枠があるため、学校から個人連絡をしても、確認されないことがあった。

<改善点>

- ・配信する側も受け手側も分かりやすいのが一番
- ・3つのボランティア区分では、それぞれがどんな内容をやるのか分からないので、登録していない方がいる可能性あり、1つの区分にすることで登録する方が増えるのでは？
- ・学校からの個人連絡が1か所になるので、配信側も受け手側も見落とすリスクがなくなる。

<変更したときに起こる問題点>

- ・小学校だけ、中学校だけの登録になるので、登録数が減少するのでは？
→なるべく両方に登録してもらえるように伝えることが必要。

<決議>

- ・変更案で実施してみる。(小学校も同じ案)

◆ワークシート②「学校運営協議会委員のスクリレ登録について」

◎議題：現行では中学校のスクリレに小学校、中学校の運営協議員が登録しているが、
小学校は小学校、中学校は中学校と分けた方がよいのでは？

<問題点>

- ・ワークシート①の問題点と同じ所もあり、小学校の情報を流すためには、中学校を通さないといけない。そのため、中学校の情報は入ってくるが、小学校の情報が分からないのではないかな？

<改善点>

- ・分けることにより、必要な情報が必要な人に届けられる。
- ・小学校での活動が中止になった時に、すぐに連絡ができる。

<変更した時に起こる問題点>

- ・学校運営協議会開催の案内が、片方にしか連絡が来ないのでは？
→今まで通り、教頭先生同士のやり取りをお願いしたい。
- ・再度登録し直さないといけないので、立ち上げが大変では？
→来年度の第1回でスマホ持参、登録まで必ずする。

<決議>

- ・変更案でやってみる【小学校は両方とも登録することに決まりました】
- ・所属している中学校のスクリレは必ず登録。小学校の情報が知りたい方は小学校も登録。
- ・「LINE」での連絡網はこのまま継続。

◆ワークシート③「学校運営協議会委員の役割分担」

役割分担

- ・地域学校協働活動推進員は1人に任せず、みんなで協力して行う【※小学校も同じ意見】
- ・書記（議事録作成：中学校部分のみ作成） … 副会長【※小学校でも副が行います】
- ・「LINE」を活用したりマインド … 2名【※小学校は来年度 第1回で決めます】
(リマインドは1週間前と1日前)
- ・キャリア教育「職業人講演会」(人選、紹介) … 2名
- ・来年度、実施しながら必要な役割分担を考えていく。

★キャリア教育「職業人講演会」について学校側に要望★

- ・来年度の第1回目で大体の予定を知りたい。確定申告の時期の開催は厳しい。
- ・中学校の卒業生で是非、中学生に話したいとの声がある。
- ・来年度開催するのであれば、早めに教えてほしい。

※小学校との共有で来年度 第1回の時に決める役割として、3つのカテゴリー担当を決めてはどうか？

- (案) 安心安全ボランティア …
- 学習支援ボランティア …
- 環境整備ボランティア …

◆学校評価アンケートの共有と課題について

【学校評価アンケート結果より抜粋】

(中学校長)

学校と家庭が一緒になって子どもの成長について考えていくという視点で話します。

生徒、教職員、保護者、上の数字が今回の数字で下の数字は前回(9月)との比較になります。

1 学力の向上(3) 家庭でしている学習

- ・自分で決めた学習をする子どもが10%増えました。

小学校、中学校で同じ目標を持ち、自分で学ぶ子を育てようということを意識した結果です。

3 健やかな体の育成(2) 健康面でどんなことをしているか

- ・情報端末の使用時間を決める
生徒の4分の1と数字が低い。
- ・悩みを人に相談
これも低い数字が出ています。

(4) 運動に意欲的に取り組んでいるか

3年生の引退により、数値が下がっていると推測されます。

4 時代の変化に対応できる教育の推進(1) 夢や目標をもって生活している

高い数値が出ています。

近隣の学校では2日間の職場体験を行っていますが、その準備も期間などを考えると、2日間で1つの職業のみよりは、本校のように、2時間で色々な職業の話を聞けた方がいいのでは? 教員ではない大人から話を聞く体験は有意義だと考えている。

5 教育支援の充実(4) どんな活動か

- ・「解く問題を生徒が選択できる」の数値が上昇。授業改善の成果。
今までは同じプリントをみんながやっていたが、早く終わった子はこのプリント、またはデジタルドリルなどやるなど変えてみました。
保護者の数値が低く、どうしたら、保護者に学校の様子を知っていただけるか?

6 開かれた学校づくりと家庭・地域との連携(3) 効果的な手段

- ・スクリーン配信
- ・ホームページ
が高い数値を出していますが、
- ・面談で直接保護者と会って話すことが大切さを感じる。

(5) 学校が地域と連携できていると感じるとき

- ・資源回収・除草作業で教員が高い数値

以上の報告を受け

議題：情報端末の使用時間を決めるについてどう思いますか？ → 来年度の課題とします

- ▶これは一番大きな課題だと思います。本当に難しい。
- ▶YouTubeなどをずっと見ていることもあるが、テスト前などは情報端末を使い、他の子と相談しながら、勉強する。情報端末に問題を出してもらう。情報端末を使い、調べ物する。など、今の子どもたちは情報端末をうまく利用して勉強している実態もある。時間を制限することも大事だか、使用時間を決めることだけではなく、情報端末の使い方について決めることが大切ではないか？
- ▶情報端末を使って調べるのは時間的に有効だが、本や辞書などを使って自分で調べるということも大切なのではないか？情報端末について勉強している方をお呼びして、どんな影響があるかを親子で知ることが必要ではないか？ → 来年度CSで取り上げ企画してはどうか？（ワークシートを使い親と子のグループで話し合うなどができたらいいのでは？）
- ▶情報端末を使用したことにより、文章を読む力や集中して読むことができない。情報端末を使うことと並行して、本を読むことの大切さを知って欲しい。

議題：悩みを人に相談についてどう思いますか？

- ▶まず、悩みを持っている子がどのくらいいくのを知りたい。
- ▶悩みはあるが、人に話すほどのものではない。本人が悩みだと思っていない場合もあるのでは？
- ▶アンケート項目を「悩みがある時に相談できる人がいますか？」に変えてはどうか？

議題：学校での授業の様子について保護者にどう伝えていけばよいか？

- ▶学校公開日を増やしてみる。
- ▶面談などで保護者にアピールする。
- ▶教職員が気軽に（軽い感じで）、生徒に「お家の人に学校でやったことを話してみて」とアピールする。
- ▶スクリレを使って、「本日こんなことをしました。お子さんに聞いてみてください」と流してみる。学校から発信していくことが大切ではないか？
頻繁に流すのではなく、唐突（単発）に流してみてもは？
- ▶スクリレをきっかけに、家族で話をするにより、親と子で、将来の話をする、悩んでいることを話すなど、いい影響が出るのでは？

議題：今の子どもは書いて覚えるという事をしなくなった。ワークの勉強でも、提出さえできればいいという感じで、答えを写すだけ、教科書の太文字を書くだけで意味のない物になってしまっている。どうしたら、自分で取り組めるようになるか？

- ▶勉強をして、自分でできたという成功体験がないからではないか？

- ▶漢字力、計算力テストがなくなって、100点が取れなくて悔しいとか、恥ずかしいとかがなくなってしまったのでは？

- ▶デジタルで覚えること、書いて覚えること

- ▶例えば、漢字を10個覚えて、テスト、できなかつたら、5分間使って再度覚え直してテスト、1回目より、2回目の方がよくできたなどの少しでもできた感を与えることが必要ではないか？競うことも大事だし、自分との戦いでもあると思う。家ではなかなかできないので、学校でやって欲しい。学校での成功体験（つらいことを頑張ったらできる）が家庭学習にも繋がるのでは？努力する過程が大切。→ 学校の課題である。

- ▶勉強をするという事は、遊びや仕事にいかすためのものなので、イベントなどをたくさん行うとか、学活やクラスの中で役割があると勉強するという事に結び付いていくかもしれない。うまくいったときの達成感を与えることは大切。

- ▶子どもたちの達成感や役に立った感を得るためのイベント子どもたちが主体で「0から作るイベント」最低限（予算や時間など）のことは決めるが、子どもたちが0から企画を立て、それをプレゼンし勝ち取るまでの成功体験をすることにより、勉強することの大切さを気付けるのではないか？ダメでも何がダメだったのか？みんなを楽しませるためにはどうしたらいいか？どのように計画を立てていくかなど、たくさんのことを考えることは子どもたちにとっていい勉強になるのではないか？（高校の探求の授業につながるのでは）
→ 理想ではあるが、まずは、学活などのクラスレクを話し合っただけで決めるのではなく、各グループのプレゼン形式で行ってみるのなど、イベントを生徒主体とし、0から作るイベントを実施できたらよい。

◆来年度予定

- 第1回 4月27日（月） 18時～ 場所：中学校
- 第2回 6月24日（水） 14時～ 場所：小学校（小学校2・3時間目、中学校3・4時間目公開）
- 第3回 11月5日（木） 14時～ 場所：中学校
- 第4回 3月 3日（水） 18時～ 場所：小学校

変更になる場合もあるので、学校からの文書を確認願いたい。

第1回目の時間は生涯学習課に確認する。→ 会沢校長確認

4月開催の委託状は間に合わないのではないか？

小学校共有

◆学校評価アンケートについて

- ・児童と保護者はほぼ同じ感じの回答でしたが、あいさつと学習については異なっていました。
- ・保護者は学校の授業については普段見てないので分からないとの意見が出ました。→今後考えていく。
- ・教員の答えで、「そう思う」という回答がほぼなく、「だいたいそう思う」、「あまりそう思わない」が多数だった。

【小中合同】

◆CS だより（ボランティア編）の発行について

- ・4月総会の時に学校運営協議会 会長のあいさつがあるので、それまでに、
- ・本日決まった内容でCS だより（ボランティア編）を発行したい。
- ・小学校、中学校の QR コードを貼る。
- ・ボランティア内容の変更が若干ある。子どもと一緒にチャレンジしたい方をどこかに入れます。
- ・スクリレ配信、紙ベースで配付する。

【承認されました】

◆その他

- ・つくば市立葛城小学校の新生保護者説明会の時に、ハンドメイドボランティアの方が、学校で使う箸セット入れる袋やランチョンマットの販売（一律100円）を行う活動をしていた。
- ・小学校では、このような活動もある。